



神港学園  
神港高等学校  
進路指導部  
キャリアアップ  
サポート通信第4号  
平成27年10月13日

さわやかな日々が続く 10 月になりました。中間考査直前です。3 年生は、大学入試センター試験の出願も終え、推薦入試が始まっています。健闘を祈りたいものです。2 年生、1 年生も、来年再来年のその時期が、あっという間に来ると思います。是非、いまからじっくりと準備をしておいてほしいものです。ともかく目前の中間考査に全力を尽くしましょう。さて、キャリアアップ通信第4号をお届けします。今回は、建築士をされておられる方からのご回答メッセージです。たいへん詳しい説明をいただいたのですが、紙面の関係で、以下の形に抜粋させていただいています。質問は、1～2 年生の 16 人からいただきました。

## 一級建築士・一級施工管理技士について

Q 1 : 一級建築士、一級施工管理技士、建築現場施工管理とはどんな仕事ですか？

A 1 : (1) 一級建築士(国土交通大臣の免許状)は、日本国内の施設(ほぼ無制限)の設計及び工事管理を行うことが出来る。一定規模以上の建物は、以下の建築士資格者の設計を含めて、施設の全設計を行います。  
(2) 構造設計一級建築士は、一定規模以上の建物の構造設計を行います。  
(3) 設備設計一級建築士は、一定規模以上の建物の設備設計を行います。  
(4) 二級建築士(都道府県知事の免許状)は、設計、管理業務を行う事が出来るが、施設の規模等に制限があります。  
(5) 木造建築士(都道府県知事の免許状)は、木造建築物で 300 m<sup>2</sup>以下で 2 階建以下の物を設計、工事管理が出来ます。

Q 2 : 現場管理はどんな仕事ですか？

A 2 : 簡単にいえば、設計図書(設計図、質疑書など)に基づき、その内容通り建物を仕上げていく事です。

Q 3 : 普通科の高校からでも建築士になれますか？

A 3 : 先ず、二級建築士取得から始まりその条件は以下の通りです。大学(短期大学)、高等専門学校で指定科目を修めて卒業した者は、卒業と同時に受験資格を有します。高等学校、中等教育学校で指定科目を修めて卒業した者は、建築実務経験3年を経て受験資格を有することになります。高卒など建築に関する学歴なしの者は、建築実務経験7年を経て受験資格を有することになります。受験は誰でも可能ですが、建築士には、建築関係のあらゆる専門知識が必要です。一級建築士受験資格を得るには、二級建築士取得後、さらに、4年の実務経験が必要になります。私の試験攻略のコツは、設問25\*4点=100点の内、60点で合格ですが、10問は捨てられる(間違ってもよい)ので、取りかかったら、結果の為、後悔しない・2度は受けない覚悟で、がむしゃらに突き進むことでした。

Q 4 : 仕事は楽しいですか？

A 4 : 90%以上楽しいですね、仕事=人生ですから、とても楽しめています。

Q 5 : 建築の際、どのようにするか悩みますか？

A 5 : 現場管理者は、設計図書に基づき施工していきます、納まりをどのようにするか、施工図を書きながら悩みます、しかし自分の意思で設計図書と違うものにはできません。過去に設計事務所をしていたことが有ります、意匠に(どのようにするか)一番楽しさがありますね。次に人の移動の導線、生活、施設の中で移動する、人の歩き回る道を、最短に重複しないよう、干渉しない様、考えるのも楽しいものです

Q 6 : 設計の時間はどのくらいかかりますか？

A 6 : 規模によります、私の経験から(小規模が多く)あまり時間はかかりませんでした(1週間から1ヶ月程度)です。規模が大きくなると、意匠、構造、設備(電気、水道、ガス)と担当者が複数携わり設計します。基本設計、打合せ(施主)、変更(要望)を繰り返し、合意に至り設計していきますので、それなりにかかる事でしょう(未経験で答えられませんが 規模により1ヶ月から半年まで)。

Q 7 : 1日何時間ぐらい働きますか、

A 7 : 今は8時間程度ですが、若いころや、責任者の頃は16時間以上です、日中現場管理などで8時間、さらに夜に、施工図作成、見積書作成などで8時間いやそれ以上、期限内に提出できるまで、完了まで。楽しいですよ、お客様の要望を聞き、図面化し合意したら、見積書を作成する、再三打合せ。歩み寄り契約したら、施工図から、着工し、模索しながら、人の助けを借り完成へ。仕事がないと人生詰まらないかも、遊べる人は別にしてですが。

Q 8 : 一級建築士と大工さんは違いますか？

A 8 : 建築工事には最低でも20種程の職種が有ります、その中で大工さんは、木工事と言う職種に携わる職人さんです、1、2級技能士の資格があります。建築士は手に職はありません、建築工事に於いて各職種の業者協力を得ながら完成へ導きます。

Q 9 : 会社勤めと個人経営では収入は違いますか？

A 9 : 高卒後、初任給は¥15,800でした、転々と鹿児島から、埼玉までの間の建築会社に勤め、¥670,000まで上がりました。会社勤めは毎月の収入が有る事と、会社での営業範囲のなかで、繰り返し作業する安定があります。個人経営では、利益率の良い工事では、¥2,000,000利益が上がる事もありますが、営業・受注が困難です。ルート販売みたいな下請けをしていけば、仕事はあるだろうが、利益率が悪くてと、どちらも悩みの種です。若いうちは安定した収入の会社勤めを勧めます。石の上にも3年、桃栗3年柿8年といいますが、人生辛抱、忍耐です。そうして己を磨き、光る球に仕上げていくのです。鹿児島県の高校建築科を卒業して、埼玉県建設会社に入社、最初は現場監督見習いで先輩の指導の下、働き、4年後、二級建築士を取得。30才の時、一級建築士を、その2年後、一級施工管理技士を取得しました(計12年かかりました)。建築に携われた事は名誉な事だったなあと思います。工事に携わり数々の建築物を造ってこれたこと、それらが全て残っていること、公共、個人の建物、今でもその雄姿を見て、当時の事を振り返る事で、感傷に浸ることが出来ます。自分の年、子供の家族の事、先輩、後輩、業者の責任者等、諸々の事が思い出され思い出に浸れます。

ちなみに、国立競技場建設委員会、安藤忠雄委員長ですが、あの方も高校卒業です、しかし東京大学名誉教授であり、作品は水と建物、いい雰囲気のものがあります、偉大な建築士です。

神港学園の生徒の皆様、一年一年の積み重ねはとても長いものですが、私も 65 才になり、人生の軌跡を振り返りますと、とても短い、あっという間に感じます。

大切な人生・・《自分を大切に》・・人生をかけるに値する何かに出会えるといいですね !!